



学校だより

平成29年12月20日



冬休み号

横浜市立港南台第一小学校

Tel:832-0210 Fax:832-7771 Email:y3konan1@edu.city.yokohama.jp

人をつなぐ言葉

校長 大石 礼子

多くの店が赤や緑といったクリスマスカラーで装い、イルミネーションが目に鮮やかに映ります。しかし、朝晩の冷え込みが厳しく学校では、熱や腹痛で体調を崩す子どもが多くなってきています。健康のままに、全員で楽しい冬休みを迎えられるよう、十分に留意して参ります。ご家庭でも健康観察よろしくご協力願いたいします。

さて、本校では、『一小子ども人権会議』を行っています。4年生以上の各クラスから代表児童が集まって、『だれもが、安心して、豊かに』生活できる学校を目指すための取組です。そして、各クラスで話し合ったことを持ち寄り、互いの取組について意見交換をしたり、全校で取り組んだりしています。あいさつ運動もその取組みの一つです。自分から挨拶をしたり、返事を返したりすることが苦手な子どももおりますが、自ら声を出して、相手の顔を見て挨拶することは、良い人間関係を築くことができるということを学んでいます。他にも子どもたちの人権意識を高める様々な取組を実施しておりますが、何より子ども自ら自分たちの課題に気づき、協力して解決しようとする力を育てていくことを大切に考えています。私たち教職員も日々、自分自身の意識や取組を振り返り人権感覚を磨くよう努力しております。

保護者の皆様・地域の皆様には、本校へのご理解ご協力を賜りまして、ありがとうございました。新しい年も引き続きよろしくお願いいたします。

12月12日(火)に『まちとともに歩む学校づくり懇話会』を行いました。今回の会で話題になったことを、簡単にお知らせします。

平成29年度 第2回まちとともに歩む学校づくり懇話会記録

12月12日(火) 18:30~19:45

出席者13名

○今年度の取組などについて(校長より)

- ・あいさつ運動 ・たてわり活動 ・ラジオ体操、健やかな体づくり
- ・子ども同士の学び合い ・幼保小中交流、地域連携

○あいさつについて

- ・朝の登校見守りの際には、子どもたちはあいさつを返してくれる。
- ・子どもから大人に向かってのあいさつは難しいが子どもから元気にできるとよい。
- ・学校では一生懸命やっているが地域ではどうなのか。実際の生活の中で浸透が難しい。防犯寺子屋等では、声をかけられた時の対処の仕方等を教えている一方で、誰にでもあいさつできるようにという指導があり難しく感じている。
- ・目を見て大きな声ではっきりと言えることが自立にもつながる。
- ・人材育成という点からもコミュニケーション力を高めてほしい。

○外部人材の活用等について

- ・読み聞かせの活動はとてもよいので続けてほしい。
- ・机上の勉強だけでなく社会の先輩の活動を学べるのはとてもよい。

○港南区子どもフォーラムの活動について

- ・先週の土曜日の発表では、しっかりと発表ができていた。
- ・本来の目的は、地域と子どもの接点であったが今は学校同士の活動になっている。
- ・時間がかかるがいろいろな人の意見を聞くプロセスが大事。学力だけでないいろいろなことが学べる。

○その他

- ・「人権」という言葉は子どもにとって難しいのではないかと。他によい言葉があれば。
- ・家庭や地域の教育力が低下しているため、学校の役割が増え今の学校の先生は大変である。